

人と街を音楽で繋ごう

岡野佑香 半田知世

指導者 豊島卓 教諭

【要旨】

現在日本社会は、人口減少や少子高齢化などの課題に直面している。特に地方においてはその変化が著しい為、地方創生に取り組んでいる。しかしながら、典型的な政策では課題の解決に限界があり、多角的な視点からの課題解決が求められる。その一つとして注目したのが「音楽」である。音楽は万人にとって親しみがあるものであり、価値を共有することができる。私たちは、先行事例を研究し、音楽の特徴を生かした街づくりのスタイルを独自に確立して提案する。

Connecting people and the city with music

Okano Yuuka Handa Tomoyo

Supervisor: Toyosima Takashi

【Abstract】

Currently, Japanese society has been facing challenges such as depopulation and declining birthrate and aging population. The changes are especially remarkable in rural areas, so they are working on regional revitalization. However, there is a limit to solving these problems with typical policies, so it is necessary for them to figure it out from multiple perspectives. “Music” is one of the solutions we paid attention to. Music is familiar to everyone and we can share the values of it. We carried out research about precedent cases, then constructed “city design with music” by ourselves and suggested it.

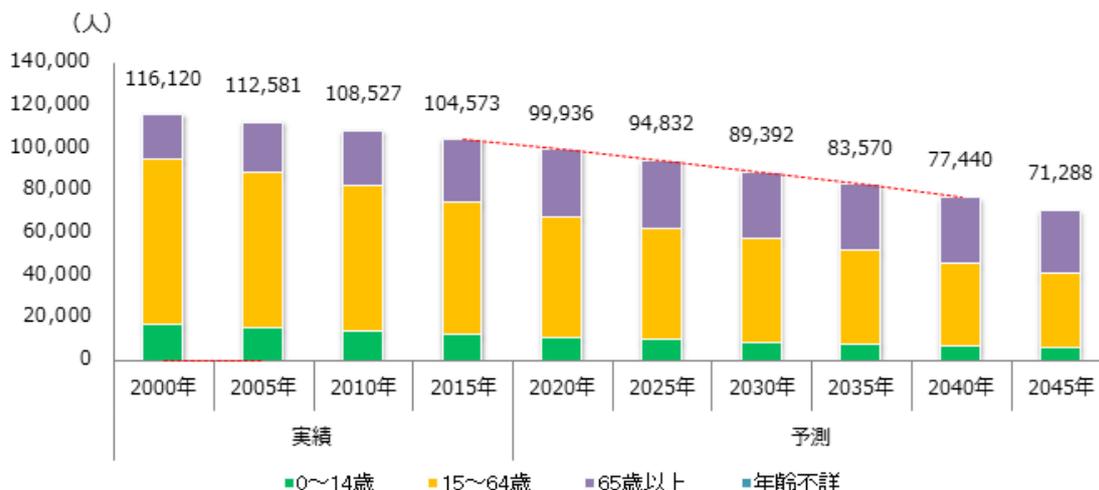
1. 始めに

1-1. 研究の背景

市町村が抱える人口問題

2021年6月8日にフィールドワークとして茨城県筑西市の市役所を訪ねた。いくつか話を伺った中で、人口減少や少子高齢化といった人口問題が深刻化していることが印象に残った。下の棒グラフ「筑西市の人口推移」からも読み取ることができる。この人口問題は市全体の産業の停滞・衰退につながってしまう。そこで、解決のために「まち・ひと・しごと創生推進プロジェクト」という地方創生の取り組みを行っているという。筑西市の魅力をPRする情報発信の強化や新たな観光の拠点づくり、雇用と就業のマッチング支援などが挙げられる。人口問題は筑西市に限らず全国の市町村で進行している。私たちは各市町村の地方創生の取り組みについて興味を持ち、研究することにした。

筑西市の人口推移



【2015年】

総面積 (km ²)	205	平均年齢 (歳)	47.7	昼夜間人口比率 (%)	95.6
人口密度 (人/km ²)	509.4	※昼夜間人口比率のみ2010年時点		※図中の点線は前回2013年公表の「将来人口推計」の値	

© jp.gdfreak.com

音楽の魅力

土浦一高生160名に対して「普段から音楽を聴くか」と質問したところ、4分の3以上の生徒が「頻繁に」と答えた。音楽は殆どの人々にとって身近な芸術であることが分かる。それゆえ、音楽は人と人をつなぐという性質がある。私たちが娯楽として人とカラオケを楽しむことや、同じような好みの人と価値観の共有したりすることに裏付けされる。私たち自身も弦楽部に所属しており、音楽がコミュニケーションツールとなり得ることを日々実感している。

1-2. 研究の目的

上で述べたように、現在多くの市町村では人口問題に直面している。しかし、典型的な政策では効果に限界があり、試行錯誤しているところも少なくはない。そこで、音楽は人と人をつなぐ力を持つ身近な芸術であることを利用して、音楽によって人と人のみならず人と街をつなぐ街づくりができないか考えた。

これらのことから、本研究の目的は、地方創生に取り組む上で音楽を活用できることを示し、自分たちで考えた「音楽による街づくり」を提案することである。

2. 調査について

2-1. 調査方法

- ・宮城県仙台市にある「国立音楽院」さんにメールでお話を伺う。（本来は訪問して直接お話を伺う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、メールでのやり取りとなってしまった。）
- ・音楽を活用しているその他の市町村または楽団の取り組みを調査する。

2-2. 調査結果

国立音楽院

国立音楽院宮城キャンパスでは、宮城県加美町と連携して音楽による地方創生の取り組みを行っている。私たちが注目したのは「地域町おこし協力隊」という取り組みである。これは2009年に総務省によって制度化されたものである。活動例を挙げると、地元中学・高校などの楽器修理、小学校への演奏指導、保育園・幼稚園への出張リトミック、高齢者施設へのボランティア、音楽療法の実施などがある。特筆して、高齢者施設での活動は、人口に占める高齢者の割合が30%を超えている加美町にとって、「若返りリトミック」のプログラムは好評のようだ。

さらに、宮城県加美町では、町が推進する「音楽のまちづくり」と国立音楽院が掲げる「音楽と福祉」を合わせることによって、音楽をテーマとした新しいライフスタイルの創生を目指している。例えば、ハローワークや町内企業と連携を密にし、アルバイトや正社員などの雇用情報を提供している。国立音楽院卒業後に地域資源やビジネスアイデアを活用して、新しい発想で起業に取り組む人に助成金を交付している。音楽活動と仕事を両立できる環境は、「音楽の街」をつくるうえで必要不可欠だと考える。

どの地域でも「音楽による街づくり」は新しい取り組みになる。しかし、地域住民の「理解・賛同・協力」を得ることが必要で、そのために「親切・丁寧・誠実」なリーダーと周りの支えがあれば可能である。誰の生活環境にも音楽は存在し、個々人の記憶や思い出と深くつながっている(この曲を聴くと、あの時を鮮明に思い出す…など)ため、専門的な知識や技術がなくても、アイデア次第で地域を活性化することができる。

群馬県交響楽団

1945年に文化を通じた戦後の復興を目的に設立され、現在は群馬県における文化の向上および青少年の情動教育を目的として活動している楽団である。

「オーケストラをもっと身近に」というモットーに、年間に約200回の定期演奏会を開いている。青少年への音楽教育プログラムや、出張演奏なども行っている。私たちが注目したのは、移動音楽教室である。群馬県内のコンサートホール、幼稚園、小・中学校、高校に向いてより多くの人々に音楽鑑賞の機会を提供している。クラシックに親しむだけでなく、群馬県の音楽文化を浸透させるという大きな目的がある。

音・音楽は、地域への愛着をもたらし、自分がその地域に属することを再確認させてくれるものである。だからこそ、人々を街に誘致する手段として音楽が適していると考えられるのである。

3. 提言

先例をもとに、人と町が音楽でつながる理想の街づくりを考えてみた。

まず町に音楽家を誘致し、仕事をしつつ自分の音楽活動に専念することができる環境を与える。次に、音楽家たちが町でコンサートや教室などを開くことにより、町の人々は楽器演奏体験や演奏活動を通して交流を深める。音楽家と住人との距離が近くなるため、住民は気軽に音楽に触れることができる。さらに、小・中・高校生が参加しやすくすることで、将来の人材づくりにつながり、音楽家が小・中・高校に向いて演奏や講演会を開くことでも、その効果が期待できる。学生が様々な楽器に触れる経験があれば、学生オーケストラやアマチュアオーケストラの結成も期待できるだろう。ほかの地域の住民がこの町のコンサートや教室に参加すれば、音楽によるこのような街づくりを周りに広め、さらに町の様々な発展につなげることができる。また、興味を持った音楽家たちがさらに町に移り住んでくる。このような流れで、人と町を音楽でつなげる循環ができれば、私たちが理想とする音楽の街は発展していく。

私たちが考えた音楽によって人と街をつなげる理想の街づくりを、地域活性化を目的としてより多くの自治体に取り入れていただきたい。

4. 結論

以上の通り、音楽によって人が循環していく街づくりを提言する。現代の諸自治体が抱える問題のひとつである人口減少をゆるやかにする奇策となるのではないだろうか。

5. 謝辞

本稿作成に当たり、ご協力いただいたすべての方にこの場を借りてお礼申し上げます。

6. 参考文献

- ・茨城県筑西市 2021年 常住人口（年度別） 2021年12月9日閲覧<https://www.city.chikusei.lg.jp/page/page001153.html>
- ・宮城県加美町 2021年 地方創生の取り組み～音楽の街づくり～ 2021年12月9日閲覧https://www.town.kami.miyagi.jp/soshikikarasagasu/hito_shigotosuishinka/chihososei/384.html
- ・国立音楽院 2021年 国立音楽院宮城キャンパス 2021年12月9日閲覧<https://kma-miyagi.com/>
- ・群馬交響楽団 2022年 楽団プロフィール 2022年1月28日閲覧 <http://www.gunkyo.com/about/prpfile/>